

**2018～2019年度
国際ロータリー第2510地区ローターアクト**

第19回アジア第1ゾーン代表者会議参加報告書



日 時：平成30年9月15日（土）

場 所：マリオス（岩手県盛岡市）

ホスト地区：国際ロータリー第2520地区（岩手・宮城）

プログラム

14:00～ 受付開始

15:00～ 会議開始

点鐘	国際ロータリー第2520地区ローターアクト代表	下神田 弘輝 様
国歌・ローターアクトソング斉唱		
来賓・参加ロータリー紹介ならびに参加ローターアクト紹介		
	国際ロータリー第2520地区ローターアクト代表	下神田 弘輝 様
ご来賓挨拶	国際ロータリー第2520地区ガバナー	田中 堯史 様
歓迎の挨拶	国際ロータリー第2520地区ローターアクト代表	下神田 弘輝 様

15:40～ 議事

議題1 「第18回アジア第1ゾーン代表者会議報告」		
	国際ロータリー第2770地区ローターアクト 地区直前代表	河本 翠 様
議題2 「第20回アジア第1ゾーン代表者会議開催地区選出について」		
議題3 「第33回全国ローターアクト研修会進捗状況報告」		
	国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	小野寺 知香
議題4 「ゾーン再編成について」		
	国際ロータリー第2560地区ローターアクト代表	永井 真伊 様
議題5 「ゾーン再編成について」		
	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	池田 遼太 様
議題6 「JRACICの再始動について」		
	国際ロータリー第2790地区ローターアクト代表	舟木 健太 様
議題7 「地区分担金について」		
	国際ロータリー第2830地区ローターアクト代表	太田 智大 様
議題8 「各地区における会員増強について」		
	国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表	小野寺 知香 様
報告1 「事前アンケートの結果報告」		
	国際ロータリー第2520地区ローターアクト代表	下神田 弘輝 様
報告2 「第31回全国ローターアクト研修会の進捗報告」		
	第31回全国ローターアクト研修会 実行委員長	中島 和洋 様
報告3 「第32回全国ローターアクト研修会の進捗報告」		
	第32回全国ローターアクト研修会 実行委員長	山田 弘樹 様

※取り消し線の議題は、当日都合により取り下げとなった議題である。

18:00～ 会議報告

会議報告	国際ロータリー第2520地区RA 地区幹事	中村 奈月 様
講評	国際ロータリー第2520地区インターアクト副委員長	根本 昌幸 様
諸事連絡	国際ロータリー第2520地区RA 地区幹事	中村 奈月 様
点鐘・写真撮影	国際ロータリー第2520地区ローターアクト代表	下神田 弘輝 様

18:30～ 懇親会

21:00～ 二次会

参加者（2510地区のみ）

ロータリアン

国際ロータリー第2510地区ローターアクト副委員長

高橋 耕 様

ローターアクト

国際ロータリー第2510地区ローターアクト代表

小野寺 知香

国際ロータリー第2510地区ローターアクト 地区幹事

石川 樹

開会式

今年度は国際ロータリー第2520地区（岩手・宮城）がホストのもと、岩手県盛岡市で開催されました。当地区からは高橋地区RA副委員長をはじめ、小野寺地区代表と石川地区幹事の計3名が参加し、第33回全国RA研修会の進捗状況を報告しました。

北海道外の各地区の皆様と議論しつつ、親睦と情報交換ができる大変有意義な1日が始まりました。



会場の様子



第1ゾーン各地から参加



いよいよ始まります！



点鐘。始まりました！



参加者紹介



田中ガバナーご挨拶



下神田地区代表ご挨拶



司会進行、お疲れ様です！



これから議事が始まります

議事の様子

議事では、ロバート議事法により第1号～第8号議案について報告及び審議がなされ、すべて承認されました。中身の濃い報告や細かな点も含めた質問、様々な観点からの意見があり参考になった一方で、スムーズな進行やロータリアンに対する説明、理解を求める場面等課題も多かったように思います。次年度以降、ゾーン会議の意義・目的を再確認し、建設的な議論ができればと感じました。

【第1号議案】第18回アジア第1ゾーン代表者会議報告



第2770地区河本地区直前代表から、前年度第18回アジア第1ゾーン代表者会議の会議報告および収支報告を行いました。

会議報告については、当地区が第33回全国ローターアクト研修会のホスト地区に立候補することや、全国ローターアクト研修会の地区分担金に関する議題を含めた合計5つの議題が賛成全地区により可決されたこと、収支報告は収支残高を今年度ホスト地区である第2520地区に全額繰越した旨を報告し、全地区賛成により可決されました。

【第2号議案】第20回アジア第1ゾーン代表者会議開催地区選出について



第2550地区が欠席のため、第2520地区から次年度開催に係る提案があり、全地区賛成により可決されました。しかしながら、義務出席者を含む提案地区が欠席だったことや、開催に係るガバナー承認の提示がなかったのが残念でした。

全研にて、数年前にガバナーの承認が得られないまま全国代表者会議に諮り、結果ガバナー承認が認められなかった経緯がありましたので、次年度以降は正規の流れで上程していただきたいと思いました。

【第3号議案】第33回全国ローターアクト研修会進捗状況報告



当地区代表の小野寺から、2020～2021年度に開催される第33回全国ローターアクト研修会の進捗状況について報告しました。

現在までの概要等をご報告し、「アクト1,000人計画」を掲げ、第1ゾーン各地区から地区会員数の20%以上の参加をお願いしました。

この方針で準備を進めることに全地区賛成をいただきましたので、質問や意見をふまえ、今後さらに地区内で協議し、準備を進めてまいります。

※当地区が報告した3号議案の説明資料につきましては、【別紙】にて記載のとおりです。

【第4・5号議案】ゾーン再編成について



第2560地区永井地区ローターアクト代表等から、全国ローターアクト研修会のゾーン再編成について提案がありました。

あくまで全国ローターアクト研修会のための枠組みを再構築するという趣旨でしたが、一部ロータリアンから認識の差異やRIの承認等に係る疑義が出ました。その点も再度確認しながら、特に埼玉の地区が不利にならないよう十分配慮することで、全地区賛成により可決されました。

【第7号議案】地区分担金について



第2830地区太田地区ローターアクト代表から、全国ローターアクト研修会地区分担金の見直しに係る提案がありました。

昨年度もゾーン会議や全国ローターアクト研修会にて協議をしましたが、地区会計が規模縮小されていることから、負担が大きいという状況を改めて共有しました。ただし、ホスト地区としては貴重な財源であることから、今後も引き続き全国の状況を確認していくとし、全地区賛成により可決されました。

【第1報告事項】事前アンケートの結果報告

	2014-2015	2015-2016	2016-2017
北海道地区	11	11	11
東北地区	5	5	5
関東地区	9	9	9
中部地区	6	6	7
関西地区	2	2	2
中国地区	9	8	8
四国地区	9	10	11
九州地区	7	5	5
海外地区	5	5	5
計	7	7	7
計	4	4	4
計	-	-	-

第2520地区下神田地区ローターアクト代表から、本会議前に各地区が回答した事前アンケートの取りまとめ報告がありました。

詳細の説明は割愛されましたが、資料には各地区ともに会員増強や地区行事、各クラブに対する取組等が詳細に記載されていました。

当地区としても参考になる取り組みいくつかありましたので、各地区と情報交換しながら、より良い活動、そして会員増強につなげていきたいと思えます。

【第2報告事項】第31回全国ローターアクト研修会の進捗報告



第31回全国ローターアクト研修会実行委員長 中島 和洋様から第31回全国ローターアクト研修会の進捗報告がありました。

PR動画を上映し、各地区に参加を呼びかけていました。今年度は自治区年次大会やインターアクトを交えての研修会となりますが、当地区はいよいよ全国代表者会議にて第33回全国ローターアクト研修会のホスト地区を正式に立候補する予定ですので、引き続き準備を進めてまいります。

【第3報告事項】第32回全国ローターアクト研修会の進捗報告



第32回全国ローターアクト研修会実行委員長 山田 弘樹様から第31回全国ローターアクト研修会の進捗報告がありました。

第32回は愛知県名古屋市で開催される予定で、名古屋にちなんだプログラム等を準備しているとのことでした。当地区としては、円滑に準備を進めるためにも福岡、愛知の皆様と連携しながら、引き続きたくさんの情報交換を行っていきたくて考えていくほか、第32回もPRを兼ねて、たくさんの会員で参加したいと思えます。

閉会式

様々な議論を行いました、ホストである2520地区の皆様のおかげで、全ての議事を終了することができました。

近年では最も難しい議事進行を求められたと思いますが、各地区が連携して一つひとつの課題を解決していくことができ、第1ゾーンの団結力を改めて感じることができました。

2520地区の皆さま、お世話になりました。



議事進行、お疲れ様でした！



根本地区IA副委員長のご講評



会議が終了しました

『第19回アジア第1ゾーン代表者会議に参加して』

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト代表 小野寺 知香

平成30年9月15日、岩手県盛岡市で開催された「第19回アジア第1ゾーン会議」へ高橋副委員長、石川地区幹事と参加してまいりました。

昨年度は地区代表ノミニーとして参加し、初めての道外の行事だったこともあって終始緊張していたことを覚えています。当時発言されていた石川地区幹事の発言する姿を見ながら、来年は私が発言しなければならないのだと感じてはいたが、今回も石川地区幹事に助けてもらうことが多かったことが心残りです。

会議の内容としても、多くの議案があり、色々な立場からの色々な意見がありました。

当地区からは、「第33回全国ローターアクト研修会」の進捗状況を報告させていただき、「アクト1,000人計画！」の合言葉を掲げさせていただきました。無事、承認を得ることができましたので、今後は当地区全体で合言葉を互いにかけていながら、準備をすすめていければと思います。

懇親会の場においては、昨年度全国ローターアクト研修会をホストしてくれた茨城のアクターとお話させていただき、ホスト経験者から今後ホスト地区を担う立場として、大変ためになるお話を聞くことができました。さらに、当地区も含めこれから全国ローターアクト研修会をホストする福岡・愛知のアクターとも交流を通して、全国ローターアクト研修会実施にむけて良い流れでバトンを渡していこう！と団結し、私自身モチベーションを高めることができたと思います。

このような話ができるのも含め、他地区と交流することができるのは、このような機会しかありません。とりあえず行ってみる、参加してみる、という気持ちをもっていけば、何かしらプラスになって返ってきます。

今後、一層準備をすすめていく「第33回全国ローターアクト研修会」に向けてこのような機会は大切にしていきたいと思います。

『第19回アジア第1ゾーン代表者会議に参加して』

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト 地区幹事 石川 樹

9月15日に岩手県盛岡市で開催された「第19回アジア第1ゾーン代表者会議」に、高橋地区RA副委員長、小野寺地区RA代表とともに参加してまいりました。

本来、このアジア第1ゾーン代表者会議は、地区幹事は義務出席ではありませんが、小野寺地区RA代表のサポートや、来たる第33回全国RA研修会に向けた情報交換やPRも兼ねて、5年連続5回目の参加を決意いたしました。

当地区からは、第33回全国RA研修会の進捗状況について小野寺地区RA代表から報告し、いくつかの地区から質問や意見等を頂戴しました。先般の実行委員会で「アクト1,000人計画」という合い言葉掲げ、本会議でもお伝えしたところ、かなりの反応がありました。インパクトという面ではかなり効果がありましたが、今後実際に1,000人規模の参加者を集めるために、当地区の会員でさらに知恵を出し合っていきたいと感じました。

また、全国RA研修会をホストする福岡・愛知のローターアクトーをはじめとするたくさんのローターアクトーと情報交換ができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

一方、会議全体では多くの課題が出てしまった印象がありました。本来、本会議は地区RA代表等の義務出席者のみ発言権、議決権があるほか、ロータリアンは積極的な発言は控え、会議の進行が滞った際にアドバイスとして発言する形式が望ましいと考えます。ところが、本会議では発言権がない参加者が発言したり、ロータリアンが一方向的に発言し、進行が滞ったケースが何度もありました。

また、開催地区ガバナーや開催地区RA委員長が会議前および会議中に退席してしまったことや、会議成立の確認や委任状の提出確認をはじめとする指示進行の不手際、事前の議事や資料の配布がなかったこと（当地区においても議事に係る事前配布や情報がなかったため、質問や意見等を準備する時間が全くありませんでした）等、準備が不足している点もいくつか見受けられました。

2500地区（北海道東部）をはじめ欠席地区が散見されたことも含め、このような状況から本会議がなぜ存在するのか、どのような議事進行か望ましいのか、また、なぜ義務出席者が存在し、本会議で何を議決、協議するのかが薄れてきていることを危惧しました。

おそらく、ゾーン内各地区でしっかりと引継がなされていないことや、要綱等を義務出席者が確認していないこと、地区内の意見を抽出・まとめられていないこと、ローターアクトーとロータリアンの連携・連絡調整ができていないことが、議事進行が滞ったことも含めて大きな要因だと考えます。今一度本会議の意義・目的等を再認識する時間を、本会議をはじめ各地区内で設けるべきだと思います。

私自身はこれが最後のアジア第1ゾーン代表者会議参加となりましたが、次年度以降もせっかく多くの地区が集まり意見を出し合う貴重な場ですので、参加者にとって、そして地区全体にとって有意義な時間となることを切に願います。



◆発行年月◆ 平成30年10月

◆発行元◆ 国際ロータリー第2510地区

ローターアクト地区役員

(小野寺・石川)